

入学試験問題

数学(理科)



(配点 120 点)

平成 24 年 2 月 25 日 14 時—16 時 30 分

注意事項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
- 2 この問題冊子は全部で 20 ページあります。落丁、乱丁または印刷不鮮明の箇所があったら、手を挙げて監督者に知らせなさい。
- 3 解答には、必ず黒色鉛筆(または黒色シャープペンシル)を使用しなさい。
- 4 2 枚の解答用紙が渡されますが、青色刷りの第 1 解答用紙には、第 1 問～第 3 問について、茶色刷りの第 2 解答用紙には、第 4 問～第 6 問について解答しなさい。
- 5 解答用紙の指定欄に、受験番号(表面 2 箇所、裏面 1 箇所)、科類、氏名を記入しなさい。指定欄以外にこれらを記入してはいけません。
- 6 解答は、必ず解答用紙の指定された箇所に記入しなさい。
- 7 解答用紙の解答欄に、関係のない文字、記号、符号などを記入してはいけません。また、解答用紙の欄外の余白には、何も書いてはいけません。
- 8 この問題冊子の余白は、計算用に使用してもよいが、どのページも切り離してはいけません。
- 9 解答用紙は、持ち帰ってはいけません。
- 10 試験終了後、問題冊子は持ち帰りなさい。

計 算 用 紙

(切り離さないで用いよ。)

第 1 問

次の連立不等式で定まる座標平面上の領域 D を考える。

$$x^2 + (y - 1)^2 \leq 1, \quad x \geq \frac{\sqrt{2}}{3}$$

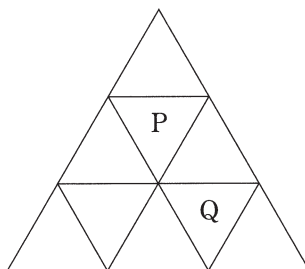
直線 ℓ は原点を通り、 D との共通部分が線分となるものとする。その線分の長さ L の最大値を求めよ。また、 L が最大値をとるとき、 x 軸と ℓ のなす角 θ ($0 < \theta < \frac{\pi}{2}$) の余弦 $\cos \theta$ を求めよ。

計 算 用 紙

(切り離さないで用いよ。)

第 2 問

図のように、正三角形を9つの部屋に辺で区切り、部屋P、Qを定める。1つの球が部屋Pを出発し、1秒ごとに、そのままその部屋にとどまることなく、辺を共有する隣の部屋に等確率で移動する。球が n 秒後に部屋Qにある確率を求めよ。



計 算 用 紙

(切り離さないで用いよ。)

第 3 問

座標平面上で2つの不等式

$$y \geq \frac{1}{2}x^2, \quad \frac{x^2}{4} + 4y^2 \leq \frac{1}{8}$$

によって定まる領域を S とする。 S を x 軸のまわりに回転してできる立体の体積を V_1 とし、 y 軸のまわりに回転してできる立体の体積を V_2 とする。

- (1) V_1 と V_2 の値を求めよ。
- (2) $\frac{V_2}{V_1}$ の値と 1 の大小を判定せよ。

計 算 用 紙

(切り離さないで用いよ。)

第 4 問

n を 2 以上の整数とする。自然数 (1 以上の整数) の n 乗になる数を n 乗数と呼ぶことにする。以下の問いに答えよ。

- (1) 連続する 2 個の自然数の積は n 乗数でないことを示せ。
- (2) 連続する n 個の自然数の積は n 乗数でないことを示せ。

計 算 用 紙

(切り離さないで用いよ。)

第 5 問

行列 $A = \begin{pmatrix} a & b \\ c & d \end{pmatrix}$ が次の条件 (D) を満たすとする。

(D) A の成分 a, b, c, d は整数である。また、平面上の 4 点 $(0, 0)$, (a, b) , $(a + c, b + d)$, (c, d) は、面積 1 の平行四辺形の 4 つの頂点をなす。

$B = \begin{pmatrix} 1 & 1 \\ 0 & 1 \end{pmatrix}$ とおく。次の問いに答えよ。

- (1) 行列 BA と $B^{-1}A$ も条件 (D) を満たすことを示せ。
- (2) $c = 0$ ならば、 A に B, B^{-1} のどちらかを左から次々にかけることにより、4 個の行列 $\begin{pmatrix} 1 & 0 \\ 0 & 1 \end{pmatrix}, \begin{pmatrix} -1 & 0 \\ 0 & 1 \end{pmatrix}, \begin{pmatrix} 1 & 0 \\ 0 & -1 \end{pmatrix}, \begin{pmatrix} -1 & 0 \\ 0 & -1 \end{pmatrix}$ のどれかにできることを示せ。
- (3) $|a| \geq |c| > 0$ とする。 $BA, B^{-1}A$ の少なくともどちらか一方は、それを

$$\begin{pmatrix} x & y \\ z & w \end{pmatrix} \text{ とすると}$$

$$|x| + |z| < |a| + |c|$$

を満たすことを示せ。

計 算 用 紙

(切り離さないで用いよ。)

第 6 問

2×2 行列 $P = \begin{pmatrix} p & q \\ r & s \end{pmatrix}$ に対して

$$\text{Tr}(P) = p + s$$

と定める。

a, b, c は $a \geq b > 0$, $0 \leq c \leq 1$ を満たす実数とする。行列 A, B, C, D を次で定める。

$$A = \begin{pmatrix} a & 0 \\ 0 & b \end{pmatrix}, B = \begin{pmatrix} b & 0 \\ 0 & a \end{pmatrix}, C = \begin{pmatrix} a^c & 0 \\ 0 & b^c \end{pmatrix}, D = \begin{pmatrix} b^{1-c} & 0 \\ 0 & a^{1-c} \end{pmatrix}$$

また実数 x に対し $U(x) = \begin{pmatrix} \cos x & -\sin x \\ \sin x & \cos x \end{pmatrix}$ とする。

このとき以下の問いに答えよ。

- (1) 各実数 t に対して, x の関数

$$f(x) = \text{Tr} \left(\left(U(t)AU(-t) - B \right) U(x) \begin{pmatrix} 1 & 0 \\ 0 & -1 \end{pmatrix} U(-x) \right)$$

の最大値 $m(t)$ を求めよ。(ただし, 最大値をとる x を求める必要はない。)

- (2) すべての実数 t に対し

$$2 \text{Tr}(U(t)CU(-t)D) \geq \text{Tr}(U(t)AU(-t) + B) - m(t)$$

が成り立つことを示せ。

計 算 用 紙

(切り離さないで用いよ。)

計 算 用 紙

(切り離さないで用いよ。)

計 算 用 紙

(切り離さないで用いよ。)

計 算 用 紙

(切り離さないで用いよ。)

計 算 用 紙

(切り離さないで用いよ。)

計 算 用 紙

(切り離さないで用いよ。)